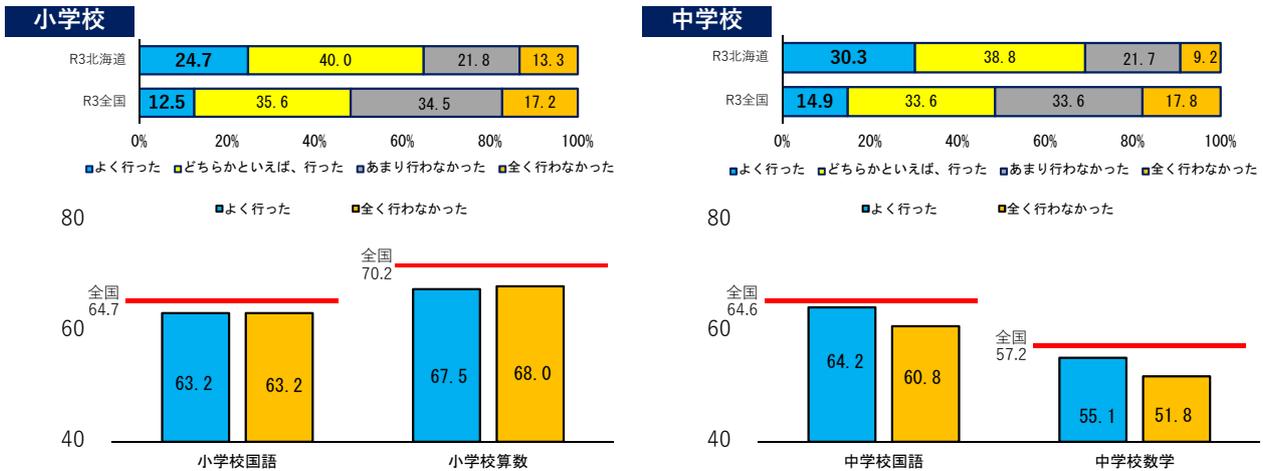


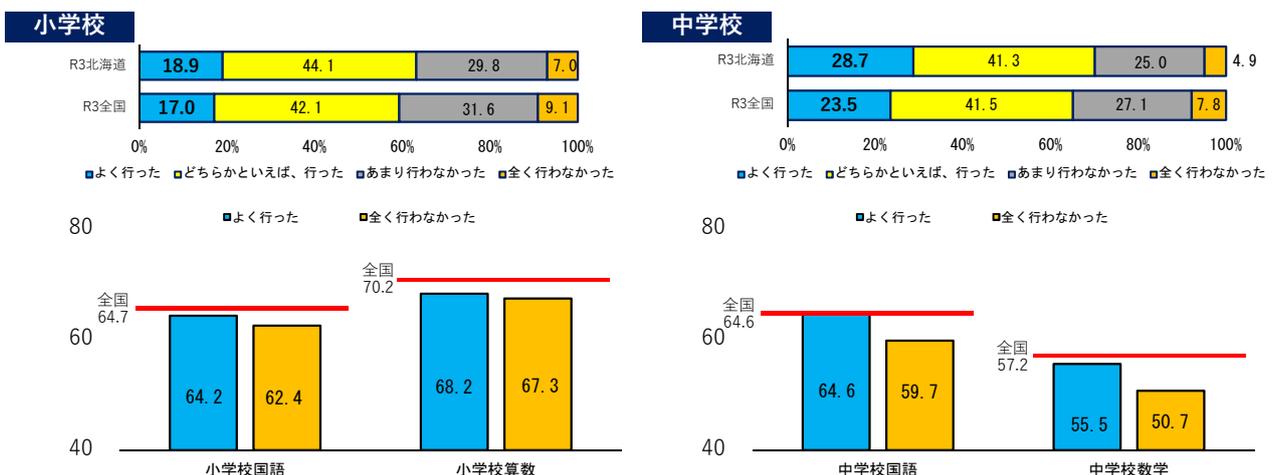
(3) 小学校と中学校の連携した取組の充実

〔分析〕

「平成31年度（令和元年度）の全国学力・学習状況調査の結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか」（学校質問紙）



「前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか」（学校質問紙）



〔分析から明らかになったこと〕

- 「全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣の小（中）学校と成果や課題を共有しましたか」、「近隣等の小（中）学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか」との質問について、肯定的に回答した本道の学校の割合は、小・中学校ともに全国に比べて高い傾向がある。
- 小中連携に関する取組を「よく行った」と回答した学校においても、教科の平均正答率が全国を下回っている状況が見られる。

〔小学校と中学校の連携に向けて〕

- **目指す子ども像の共有、系統性を踏まえた指導の組織的な展開**
 - ・ 目指す子ども像の実現に向け、児童生徒の学習状況や地域の実態等を踏まえ、課題に即した具体性を持った目標設定（目標の可視化）や取組内容等を明確にした組織づくりが大切です。
 - ・ 同一中学校区内の小学校と中学校で各種データ等に基づく成果と課題を共有するとともに、教科の系統性を踏まえた教育課程や指導方法などの接続を確かなものにするなど、小中連携に向けた取組の質を高めることが大切です。

取組のポイント

- 小学校と中学校の連携を推進する体制の整備
- 小・中合同会議による各種調査結果の分析
- 乗り入れ指導による系統性の把握と指導の工夫・改善

実践の概要

小学校と中学校の連携を推進する体制の整備

教務部	中学校	小学校	旭ヶ丘学園
1	基本的に毎日6時間授業 全校集会・実行委員会・職員会議等は5時間 昼校 8:15-下校 15:35	金曜日のみ全校5時間 職員会議は5時間 水・木は1時間 昼校 8:10-下校 15:35	乗り入れがしやすいように1時間目、3時間目のスタートを合わせる
2	職員会議は月・金が多い、全校集会は木・金が多い テスト前は前日中止 定期テストは3日 修学旅行は1日 職員入室禁止 体育祭・広陵祭前は特別時 間短縮を確保	職員会議は火曜日 全校集会は水曜日 運動会・学芸発表会は特別 時間短縮を確保	町の育成方針と合わせながら終了時刻を決めている。少年団もそれに合わせるか。
3	部活開始時間 少年団開始時間 少年団バス運行	運動会・学芸発表会は特別 時間短縮を確保 通年 15:30-18:30 少年団バスなし	町の育成方針と合わせながら終了時刻を決めている。少年団もそれに合わせるか。

・教職員による推進協議会を発足し、小学校と中学校の連携に係る協議を定期的に開催
・日常的な協働体制の構築

小・中学校の全教職員が部会（教務部・研修部・指導部・保体環境部）に所属し、児童生徒の姿や指導について、日常的に共有できる体制を整備しています。

小・中合同会議による各種調査結果の分析



・全国学力・学習状況調査やほっかいどうチャレンジテスト等の合同分析による取組の検証
・児童生徒のつまづきを把握し、指導の重点を設定

小・中合同会議において、全国学力・学習状況調査、ほっかいどうチャレンジテスト等の各種調査結果を分析し、指導の重点化や9年間を見通した指導計画の改善を図っています。

乗り入れ指導による系統性の把握と指導の工夫・改善



【中学校英語科教員による乗り入れ授業】



【相互参観授業】

・授業改善に向けた小・中学校教員による協議の実施
・9年間を見通した学習内容の系統性や連続性を踏まえた指導方法の工夫・改善

乗り入れ授業や相互授業参観後の協議を通して、小学校と中学校の学習内容の系統性や発達の段階による指導方法の違いを把握し、双方の指導の工夫・改善に役立てています。

取組の成果

- 部会における活動を通して、小学校と中学校の連携に向けた全教職員の意識が高まり、日常的な協働体制を構築することができた。
- 各種調査結果の合同分析や乗り入れ授業等を行ったことで、児童生徒の学力や学習状況を全教職員で共有することができ、教科の系統性を踏まえた教育課程の接続や指導の工夫・改善につながった。

